

令和4年9月定例会一般質問

通告 5

質問 介護人材の確保について

答弁 介護人材確保・育成対策に取り組んでまいります

5 番 佐久間ふみ子 議員

【質問：佐久間ふみ子 議員】

5 番、佐久間ふみ子でございます。介護人材の確保について御質問いたします。

人生 100 年時代と言われ、2042 年には国内の高齢者人口がピークを迎えます。さらに 2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、高齢者や要介護認定者が大幅に増加することが予想されています。また、一人暮らしの高齢者が急増し、高齢者の高齢化も進むと思われます。



第 7 期中標津町総合計画、高齢者福祉の充実の主要施策で安心して暮らせる地域づくりに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちづくりの推進に、多様な介護サービスは重要な役割を担うものと考えます。介護サービスの充実に向けての取り組みも急務であり、介護人材の確保が特に重要になっています。

しかし、介護現場では全国的に慢性的な人材不足が大きな課題となっています。介護士として長く勤めてきたが、体力的につらく辞めたいが後任がいないので辞められない。夜勤の回数が多い。休みが取りづらいなどの声を聞きます。人手不足は労働環境を悪化させるだけではなく、介護事業所のサービスの縮小にもつながってしまいます。

本町においても介護職員の不足は深刻な問題で、介護人材の確保が喫緊の最重要課題として、人材確保を積極的に進める必要があると思います。毎年、介護職員初任者研修、実務者研修、道の補助事業など、講座を開催し実施していますが、実績として人材不足解消には至っていないのが現状ではないでしょうか。研修講座を受講した方が介護の現場に進めるよう、その後の対応が大変大事ではないでしょうか。引き続き、継続して取り組んでいってほしいと思います。

介護人材の不足の要因の一つには、介護の仕事は低賃金で重労働というイメージがあり、若い人の就職先として選びにくい状況にあるのではないのでしょうか。児童生徒や保護者、進路指導担当者に介護の仕事の大切さや、やりがいをもっと正しく理解してもらうこと

がとても大切であると思います。現場で働く介護職員と連携し、町内の進路指導教諭との懇談や中学校や高校を訪問して、出張介護授業を実施するなど、介護の仕事の内容や、やりがいなど、介護職の魅力発信の活動を積極的に行ってはどうか。

今後を見据え、介護職員の賃金アップや職場環境の改善、介護人材の確保・養成のために町独自としてどのように取り組むべきとお考えなのか、町長の見解をお聞かせください。

【答弁：町長】

佐久間議員御質問の介護人材の確保について御答弁申し上げます。

我が国の人口動態を見ますと、いわゆる団塊の世代が全員 75 歳以上となる 2025 年に向け、高齢者人口が急速に増加し、既に減少に転じている生産年齢人口は 2025 年以降、さらに減少が加速すると予想されておりまして、本町の高齢者人口のピークは 2041 年と推計され、高齢者人口の増加とともに、今後の介護サービスのニーズが見込まれる一方で、介護職員については慢性的に不足している状況であることから、介護人材の量的確保を行い、質の高い安定的な介護サービスを提供する必要があります。

本町において、介護人材の確保、育成、定着促進は喫緊の重要課題でありまして、町内の全介護事業者で構成する中標津町介護事業者協議会との連携により、介護資格研修の開催、若者、子育て層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力の発信や就職説明会の開催など、様々な人材確保対策に取り組んでいるところであります。

町独自の事業としましては、介護職員初任者研修を開催し、新たな介護の担い手となる学生、子育て層の資格取得の支援を行うとともに、介護福祉士実務者研修の開催により、キャリアアップのための研修受講の負担軽減を図り、現在まで介護福祉士国家試験に累計 37 名が合格し、介護職員の処遇改善と介護サービスの質の向上に寄与しております。

また、中標津町介護保険事業者協議会との協働により、将来の中核人材たる学生に対する介護職の魅力向上や介護の仕事の理解促進のため、町内の高等学校との高校生アルバイトの検討協議や介護事業所での就業体験学習の受け入れを行っております。

令和 3 年度からは、町内の全小学校の高学年を対象として、認知症サポーター養成講座を開催しており、これらを通じて介護や介護職への理解の醸成を図っているところであります。

介護事業所では、介護職員の負担軽減のため介護ロボット、ICT の活用を推進しているほか、職場の環境改善や離職防止につながる介護職員の育成方法を学習するため、

経営者向けの研修会を開催し情報共有するなど、事業所全体での取り組みも行われております。

本町独自の事業については、これまでの取り組みに加えて、議員御指摘のとおり、学生の進路選択に際して、介護職の魅力を正しく認識し就業してもらえるよう、学生やその保護者、進路指導担当者への介護の仕事の理解促進等の働きかけを強化することも重要であると考えておりますので、中標津町介護保険事業者協議会と連携を図りながら、様々なアプローチにより、多様な人材層に対しまして、介護職への理解促進と介護のイメージ転換を図り、参入促進に向けて介護人材確保育成対策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。